

これは「ありづかこおろぎ」というま
 ぎれもないこおろぎの一種なのです。
 このこおろぎは蟻の巢に居候をしてい
 る虫で、残りものをもらつて生きてい
 ますが、この虫のだす液を蟻は喜んで
 なめます。この液はアルコールのよう
 な性質をもつていふということですが、
 このこおろぎのほかに蟻の巢に
 はいろ／＼な昆虫が居候をしてい
 ることがわかつています。そんな居候の虫
 はふつう私達の目にふれないのですか
 ら、何もいふように見える私達の庭
 でも目につかないところにいろ／＼な
 虫が生活しているわけです。私達は自
 分の家の庭でもあるいは保育園の庭で
 も夜間、蟻がどんな活動をしているか
 ほとんど知らないと思ひます。庭に多
 いトビイロケアリは樹の根元などに巢
 をつくつて、樹の幹を上りおりしてい
 るのですが、この上り下りする数が一
 時間にとの位か調べてみた結果、一日
 の間に数がかわるし、又それは季節に

よつて非常にちがうことが認められま
 した。この蟻は春は日中一番多く、初
 夏では夜と晝とで同じ位で、夏になる
 と日中は殆ど見られなくなり夜だけ上
 り下りするようになるというのです。
 これは温度と深いかんけいがあるわけ
 で、夏になつて蟻が少なくなつたと思
 うと、本當は夜、働いているわけだ
 このような觀察を子供達と一緒にする
 と面白いと思ひます。最後に蟻の飼
 方をお話しておきましょう。

○

蟻を飼つてみるととても面白いので
 すが、今までのことで御わかりのよう
 に働蟻だけをつかまえても駄目ですか
 ら、羽蟻がとぶ時期に、羽をおとして
 地面を歩いてゐる大形の雌蟻を見つ
 てきて、コップに三分の二位土を入れ
 それに雌蟻を放してふたをしておきま
 す。雌蟻は一匹だけで土の中に巢をつ
 くりはじめ、だん／＼と働蟻をうん
 だすから小さな蟻の家族を観察す

保
 育
 精
 神
 の

大
 祭
 典

福岡へ、福岡へ。

去年七月新潟大會以來待望一年の福

岡全國保育大會へ。

全日本の保育關係者の大集合。保育
 精神の大團結。同志相語り、同業相勵
 し研究討論の熱、舊友新知の和。今や
 九州の地は保育精神のオリンパス殿堂
 として、保育精神の大フェスティバルと
 して、湧くが如く、燃ゆるが如き盛大
 の壯觀。湧く温泉、燃える火山も待つ
 ているが、それ以上、湧き出で燃え上
 がる保育精神の大觀を顯現する。

問題は多い。ぶつかるのも意見が旺
 んなからである。競うのも體驗が豊か
 なからである。叫ぶのは變うるが故で

ることができません。雌蟻は體に貯えている榮養で生きていますから、特別に餌をやらなくてもいいのですが、土は乾燥してしまわないように時々水をかけてやりませう。巢は大體、かべに接してつくられますから、ガラスを通して蟻の家族が巢の中でどんな生活をしているかよくわかるでしょう。これはきつと子供達が大變興味をもつと思います。この興味を上手にのばしてやると自然を正しく理解させ、科學的な考え方を身につけるものとすることができると思います。蟻の飼育などは道具も少なくてすむし、技術的にも容易ですから幼稚園や保育園などでやるには一番適當だと思ひます。

今の大人が子供の時は、毛虫などがあるとお母さんが「そら毒をもつているよ」といつて毛虫に手をふれたりすることはさせないことが多かつたと思ひます。これは毛虫に限らず萬事こんなようだつたと思ひます。これが現在

の大人に、物事を科學的に考へるといふ上に、どんなに邪魔になつてゐるかわかりませぬ。私は少し痛い思ひをするものがあつても子供達に毛虫の觀察をするようにしむけるといつた方向に導く必要があると思ひます。毛虫で毒針や毒刺をもつてゐる種類は少なくてもほとんど毒などはないといつていい位ですが、なか／＼可愛いいものではない位毒があるといふことでしたら、ほんと／＼に毒があるのかないのか、どんな毒が、どこからでるのか、こゝいつたことを考へるといつたことが自然に正しく接し、物事を正しく判斷し、行動する上に大變役にたつてしよう。大人がこの毛虫を通じ、昆虫界あるいは大きく自然界のことを考へ、親しむことによつて、古い考えを捨てたことが現在の日本にとつて非常に大切だと考へるのですが、これは我田引水でしようか？

ある。手を拍つは贅するが故である。傾聴と發表とは會場を彩どり、大祭典の大オーケストラとして滿堂を感激のつぼたらしめるであらうし、合議と一致とは我等の志の總和として天下を動かさずにはないであらう。

人は多い。活動の地も違ひ、擔當の任も異なる。しかし、中心となるものは保育事業である。一つに爲するところは幼児のためである。互に理解すること、斯くの如く深き集りはない。互に勵ますところ、斯くの如く強き集りはない。こゝに全員が己れを忘れて集りの幸福と感奮とにひたるのである。彼も我れと同じく幼児を熱愛する侶か。君も我れと共に保育に苦心する友か。廣き會場に共に座し、山海の絶景に歩みを共にし、天下に同志多きを思つて胸の張るを禁じ得ないであらう。

第四回全國保育大會の盛大と全國聯合保育會の發展とを祈つてやまない、この保育精神の大祭典を壽ほぐ辭とする。